

藤沢

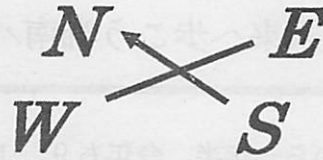
エコネット

藤沢環境運動市民連絡会議

(略称) 藤沢エコネット

2012年10月1日

第221号



主 事 ・ 原発卒業湘南パレード
な ・ 「がれき広域処理」に関し市に申し入れ
記 ・ 「フードインク」紹介 ・ 放射能検査
事 ・ 県母親大会での畑田重夫さんのお話し

http://members3.jcom.home.ne.jp/fujisawa_econet/

事務局 〒252-0816 藤沢市遠藤 849-9 青柳

☎ / FAX 0466-87-4922

e-mail: aoyagipc@jcom.home.ne.jp

藤沢市政・市議会の最近の変化

今年2月、海老根靖典市長に代わり、鈴木恒夫市長が就任して以来、少しずつ藤沢市政・市議会が変わってきている。

今まで、市民団体が市長要望書を提出して面会を求めても、滅多に会えなかったが、最近では市長が自ら受け取り、要望を丁寧に聞いてくれる。これは市民のための市政を築く上で重要な変化である。

海老根市政が残した市庁舎建設民間委託計画や市民会館移転・縮小計画などの市民財産を破壊、売り渡すような計画を中止したことは、高く評価されている。

また、市役所の組織も経営***という名の、あたかも利益を上げる会社のような呼び方は変更するという。市職員は市民が健康で文化的な最低限度の生活を保障するために税金で働いているのであり、利益を上げるために働いているのではない。

議会運営も変わったようだ。従来は請願・陳情に対し、何の意見表明もせずに反対する等、委員会運営で不明朗なところがあったが、最近は採決前の意見打診のための休憩をなくして、賛否の意見表明を堂々としてから採決する運営になった。だからその討論で内容を深め、賛否の態度が変わる場合があるという。

3月には、「藤沢エコネット」の請願で、市議会から国へ『原発からの撤退』の意見書が提出された。9月議会でも、「平和都市をつくる会・ふじさわ」提出の『大飯原発稼働停止』と「オスプレイ配備に反対する市民・団体かながわ連絡会」提出の『オスプレイ配備撤回』を国に求める陳情、および「新日本婦人の会藤沢支部」提出の『神奈川臨調を原則廃止し、市内県有施設・小児医療費助成等を廃止しないよう求める』県への陳情が総務常任委員会で採択され、10月の本会議に期待が寄せられている。

国の動きは逆方向に動いているようだが、国民の大半が求めている原発ゼロへ、市民が豊かになる政治へと足元の市政・市議会から動き始めているようだ。(青柳節子)



こがね色になった田んぼ 長後の引地川沿い

9. 17 「原発卒業だよ！全員集合 2012」

未来へ歩こう湘南パレード 今年も盛大に！

福島原発事故から一年半、今年も9. 17湘南パレードが行われ約600人が参加しました。

イマジン湘南の主催に多くの賛同者が集まり、ファミリーチーム、市民チームほか3つに分かれそれぞれの特徴ある出し物で盛り上がりました。

子どもは手作りおみこしを、わっしょい ワッショイと担ぎ、市民チームはプラカードメッセージを書いた看板を持ってかけ声「和っしょい（和を背負うの意味）」に合わせてパレードしました

沿道の方からのかけ声や、お店の方も出て応援をいただいたり、車道を歩くので警備のお巡りさんも協力して下さいました。



さて去年は「9.11 脱原発パレード」として行われましたが、3.11 にも行われ今回は第3弾ということですが、奥田公園わきを4時に出発し遊行寺までを約1時間かけて歩き到着してまもなく、夕暮れが迫ってきてしまいました、かき氷や飲み物でのどを潤しました。

パレード中、14人の団体や個人の紹介も盛り上がりました。実行担当者からは誰が何を言い出すか、いつ何が飛び出すかわからない、見逃せない生中継ライブ！”生きてるデモ”って感じがしたとの評でした。

Kさんは、替え歌を披露し、ぶっつけ本番なのに、チームのみなさん、歌にちゃんについてこられていて、歌で心をひとつにして下さって

いました。準備のワークショップから参加された方は「人付き合いがヘタで人生の大半を一匹狼行動で過ごしてきた私にとって、スタッフの輪に入っていくのは正直緊張の連続で、怖くもありました。でも、こうしてパレードに参加してみて、自分を失わずに人と繋がることのできるのだと教えてもらいました。そして、

繋がることで人はこんなに強くなれるのだとも教えてもらいました」と感想を寄せて下さいました。（日比）



神奈川母親大会 畑田重夫さんのお話
平和と民主主義の分科会

例年開催されている県母親大会の分科会は参加が少なかったが今年は多い、これは情勢だと思う。

来年90歳になる、独居老人で孤立死などに心配下さっているが、心配はいらない。安保問題を60年近く話し続けて本も書いている。今日は母親大会なので現在おきていることを分かって頂きたい。領土問題、原発、沖縄問題、消費税、オスプレイなど政治の劣化が今の情勢と結びついている。

母親大会の原点を思い出して欲しい、「命を生みだす母親は生命を育て生命を守ることをのぞみます」が原点、看護師は「日本を再び血に染めない」、自治体労働者は「再び赤紙を配るまい」、新聞労組は「再び戦争のためのペン握るまい」と立ち上がった。

諸悪の根源の安保が日本で限界に来ている。憲法の原点を妨げてきたのは安保である。私はポケット憲法をいつも持っている、目方は軽い、血や汗や想いがこもっていてとても重い。

戦争とは何か→戦争は最大の人殺し、最大の無駄づかい、最大の環境破壊、民主主義の抑圧、第二次犠牲者づくりである。誰でも反対は当たり前、平和を望むことが当たり前でありすぎて、仲間が増えない。抱えている問題に立ち向かって共に学び合うことが大切。

日本は核兵器を持たなければ中国や北朝鮮が心配と言う人がいるが、中国脅威論で、基本は安保体制で経済協力である。「対米従属の正体」の本はどのように日本人をだますか良くわかる。

憲法9条には…戦力を保持しないとある、自衛隊はごまかしで、その他の戦力とは「ワー・ポテンシャル（戦争に通じるものはいけない）」の英訳ではつきりする。日本は戦争しないように決めた。戦力の放棄、国民生活を憲法の立場に立って議論できるようだろう。（ブータン国王のように、日本の大臣のように上から目線でなく）。

結局、学習することが大事かが分かったと思う。竹島問題も史実をふまえて学習の中で分かる。

5月には憲法改定論がめじろおし、「悪魔はやさしくノックする」などの言葉あり。深く学ぶこと“学習が大事”を学んで欲しい。（日比 遼）

「がれきの広域処理」に関する申し入れ書

藤沢市長宛に申し入れがありました。

紙面の関係から抜粋で概要を紹介します

2012年6月4日

藤沢市長 鈴木恒夫 様

藤沢市 鹿島佐貴子

冠省 政府は本年1月には数度にわたり改訂された「東日本大震災により生じた災害廃棄物の広域処理の推進に係るガイドライン」を関係都道府県に通知し、全国の自治体に対して、災害廃棄物の受入を要請してきたことはご承知の通りでございます。

そして3月29日よりアンケート実施し44都道府県連から回答を得ています。その安全基準の算出方法については疑問も多く、黒岩知事が受入を表明したものの予定地であった横須賀市の住民の猛反対に遭い、市も撤回するような事態も起きています。

政府が広域的に処理する特別措置法を考え出したのは宮城や福島のためでなく、大手ゼネコンや広域処理を行う全国廃棄物処理業者等に復興予算が流れる仕組み作りであり、その陰で国会議員・官僚も甘い汁を吸わんがための方策であることは仙台市のがれき処理を見れば一目瞭然です。つきましては、下記に挙げる理由から、藤沢市としては「がれきの広域処理」に反対し、受け入れることを拒否して頂きたいここに申し入れます。

Ⅰ. 広域処理は全国に汚染を拡大する

原発事故以前は100Bq/kgは放射性物質として別に処分されていきました。しかし事故後この基準を8000Bq/kgに緩和してこの恐ろしいまでの基準緩和は本来なら隔離すべきものを一般廃棄物の処分場に入れることができるようにするため、国民の健康被害等は全く考慮しておりません。全国に汚染をばらまいてはいけません。

Ⅱ. 災害廃棄物は産廃なのに一廃に扱うのは違法・政府の関与は違法

災害廃棄物はコンクリートや木くずなどの産廃ですが、一廃扱いしたのは市町村でも処理できるような仕組み作りのためであり、この法的根拠はなく通知をただけに過ぎません。

Ⅲ. 広域処理は地元復興の妨げになる

被災自治体の意思とは関係なく環境省の意思で広域処理を目指した県の代行による地元処理は、共同企業体に委託、この代表企業は大手ゼネコンです。つまり丸投げし、復興費用はそこでピンハネがおきる仕組みです。

ドキュメンタリー映画

「フード・インク」 紹介

9月1日の県母親大会でロバート・ケナー監督「フード・インク」(食物会社)という、アカデミー賞にノミネートされたアメリカ・ドキュメンタリー映画を鑑賞した。アメリカの現在の農業・畜産のシステムを取材・告発したものだ。

70年代には数千の牛肉処理場があったが、今は13か所しかなくなった。処理会社が巨大化し、全米の農家から集められた牛肉は工場形式に流れ作業で解体処理され、安い賃金で人間も牛も物扱いされ、安い肉が出荷されている。

一方アメリカ政府はコーン栽培を助成、大量のコーンが生産されている。コーンは便利な食物で粉にして飼料にでき、油に、他の食物の原料にと、どこにでも使われている。牛は草食で、もともとコーンを食べなかったが、今の飼料は安いコーン中心で、それがO-157大腸菌発生の原因ともなっている。

ある母親の子どもが、ハンバーガーを食べてO-157に感染し、12日目に死んだ。牛肉の回収をしたのは27日後であった。今は国に訴えて工場停止ができるケビン法の成立に力を注いでいるが、成立してない。

1980年代に農作物の特許が認められた。DDTや枯葉剤等をつくっていたモンサント社は、除草剤・ラウンドアップに対して耐性をもつ遺伝子組み換え大豆を1996年に売り始め、2008年には90%のシェアを持った。特許のため、種子の保存を農家は出来ない。

システムを変えるチャンスが1日3回ある。消費者の選択で、オーガニックの普及、成長ホルモン不使用牛乳コーナーが現れた。(青柳)



放射能測定値

市民が9月11日に依頼測定した数値

- ・ 藤沢産 小松菜 9Bq/kg
- ・ 藤沢産 ねぎ 12Bq/kg

藤沢卸売市場で食物放射能測定を始めた。標準測定(20分)で2100円。精密測定(90分)で3150円。藤沢市消費生活センターは無料。

(藤沢エコネットニュース 221号)

ECONET INFORMATION

「シェーナウの想い」上映会と楽しい節電で
トクしちゃおうお話し会

10月6日(土) 13:30~

カトリック藤沢教会セサール

主催 みんなで決めよう「原発」国民投票神奈川

問い合わせメール kanagawa_kokumintohyo@gmail.com

福島・チェルノブイリ・原発事故・現地からの報告
森住卓さんの映像とトーク

10月7日(日) 13:30~

大和市保健福祉センター ホール

前売り券800円 学生500円

主催 平和民主革新の日本をめざす大和市の会

問い合わせ 046-267-5139



小出裕章さん講演会 in かわさき

小さきもののために〜福島原発事故から考える〜

10月14日(日) 13:00~

川崎市幸市民館大ホール

主催 脱原発かわさき市民 090-2209-9730

藤沢エコネットから

学習会 「海から世界が見える」

講師 岡部久さん/ 武本国弘さん

11月4日(日) 13:30~

藤沢産業センター6階 参加費500円

主催: 湘南のなぎさを守る藤沢市民の会

藤沢エコネット協賛

会費・購読料の納入お願い致します

ゆうちょ銀行(9900) 店番(029)

当座預金 0046501 73/ 藤沢エコネット

(従来の振込方法も利用できます)

会員募集=年会費・購読料→3000円

事務局会議 10月11日(木) 14:30~推進センター

《編集後記》消費税増税、TPP加盟、原発再稼働、オスプレイ配備等国内の大問題が押し寄せる昨今、突如9月11日、野田政府は尖閣諸島を国有化、中国人反日運動が高まり、日中友好40周年記念行事も中止となった。誰が得するかと聞かれ、国民の目が領土問題に向けられている間に、案件をスムーズに進められる政権ではないかと言う人がいる。(A)